いう話を皆さんも聞いたことがあると思います。その原因は大気中に排出される二酸化炭素と言われており、太陽光発電などの自然エネルギーは二酸化炭素を排出しないため、その電気を使用することで、北海道電力から購入する電力を減らし、結果として二酸化炭素の排出量を減らすことに繋がっています。

保健室の横に設置してあるモニターには、現在の発電量や二酸化炭素の減少量も表示されています。1年間のデータなどを揃えることもできますので、今後活用して環境問題の学習をしていただきたいと思います。

質問（根本健吾議員）

北海道電力に売るのなら電力をためて後から使えばいいと思うのですがいかがでしょうか。

答弁（武田教育長）

電気をためるためには蓄電池というものの設置が必要です。太陽光発電パネルは平成22年に新得小学校に設置したのですが、その時も電気をためて後で使えないかということを議論したようです。蓄電池を設置するとなれば、蓄電池の本体やその設置にかかる経費、電気を通すための配管工事なども必要になってくるということで多くの費用がかかると聞いています。また、自然に蓄電池から電気が放電されるということもあって、だいたい2時間～3時間しか保たないと聞いています。このようなことを考えるとあまりためても効果がないと考えています。

それよりも今、北海道電力に電気を売って、電気代を節約した方が良いかなということで現在は余った分を北海道電力へ売っています。

ゴミのポイ捨て看板設置について

～湯浅堅心、砂原悠二、東暖人、植田ゆら、東川茉央、田中心結議員～（新得小）

湯浅堅心議員

質問（湯浅堅心議員）

以前にも質問があったゴミのポイ捨て看板設置についてですが、僕たちが見ている限りでは、あまりポイ捨ての改善が見られていないと思います。

看板が設置されていると町がもっときれいになると思いますが、看板を設置しないとゴミをポイ捨てする人が増えると思います。

僕たちは、新得の町がもっときれいになってほしいと思っています。これについてどのようにお考えでしょうか。

答弁（浜田町長）

ゴミのポイ捨ての問題は、道路を利用する一部の人が飲んだり食べたりした容器などを持ち帰らないマナー違反が原因であり、とても残念なことだと思います。

新得町での環境美化活動は、町内会という組織があって、毎年、会長さんや衛生委員さんによって、町のゴミ収集活動への協力や地域の美化活動などについて活動を行っていただいています。

また、ゴミのポイ捨てなどへの対策は、町内会長と衛生委員の皆さんや町内の企業や多くの団体の方々によって道路沿いのゴミ拾いなどのボランティア活動が毎年実施されています。

ご質問の看板の設置ですが、近隣の町内会や衛生委員さんの意見も聞きながら対応していきたいと考えています。皆さんも気になる場所があればぜひ連絡をいただければと思います。

また、看板の設置も重要な対策ですが、看板だけではなく、広報での呼びかけ、お父さんやお母さんが加入している町内会、そして、町内の企業や団体の方と協力して、美しい住環境を作り、ゴミを捨てづらくなるような活動を続けながら、ポイ捨てなどのマナー違反をしていることへの意識を変えてもらうよう、粘り強く活動を進めることが大切だと思っています。

私たちも努力をしていきますが、皆さんにおかれましても日頃の児童会活動でできることを積極的に取り組んでいただき、また、家に帰ってもお父さんやお母さんと相談をしながら、町が少しでもきれいになるような活動への協力をお願いします。

砂原悠二議員

質問（砂原悠二議員）

自分たちも町をきれいにする取り組みを頑張ります。看板は、公園など町の皆さんが集まる場所に設置した方が良いと思います。

答弁（浜田町長）

担当の課も含めて議員の皆さんの思いというものを少しでも前に進められるように努力をしていきたいと思います。

私たちも今年初めて、職員が道々と佐幌3号という道路のゴミ拾いを行いました。町内のわかふじ寮の職員の方や他の民間企業の方々も一緒になって、他の日にもゴミ拾いを行っている姿を見ています。

ゴミは大変な問題だと思っていますので、看板に限らず皆さんもいろいろなことを考えていただければと思います。

学校の各教室の夏の暑さ対策について

～鈴木亜聖、高橋麗翔、北野桜汰、佐藤こころ、阿部春奈　議員～（新得小）

質問（鈴木亜聖議員）

鈴木亜聖議員

僕たちは、学校の各教室の夏の暑さ対策について質問します。夏の暑い日に僕たちは、窓を開けて暑さをしのいでいます。でも、窓を開けるだけではあまり効果を得られていないので、扇風機を設置してほしいと思います。

そのことについて町はどのようにお考えですか。

答弁（武田教育長）

確かに、地球温暖化の影響か、年々、気温が上昇傾向にあると感じています。特に今年は、北海道らしい爽やかな晴れの日は少なく、逆にじめじめとした雨の日が多い夏だったと思います。

コンクリートでできている小学校は、夏場に湿度が高くなり、さらに、雨が降る日はあまり風も吹かないため、教室の中は窓を開けても風が通らず、じめじめと蒸し暑かったのではないかと思います。

その対策として、扇風機があればということは、理解できますが、教室全体に風を行き渡らせるには大きな扇風機が数台必要になると思っており、逆にその風によって教科書やノートがめくれて勉強の邪魔になるかなとも思います。

教室全体が涼しくなる方法については、来年の夏の暑い時に現状を確認させていただきたいと思います。

質問（鈴木亜聖議員）

僕たちが来年卒業し、町が現状を確認しに来る時、どのように確認するのか教えてください。

また、教科書やノートがめくれて勉強の妨げになってしまうことも考えられますが、暑い方が逆に勉強に集中できないと考えます。いかがでしょうか。

答弁（武田教育長）

来年の暑い時の確認方法は、例えば、教室の気温がどのくらいまで暑くなっているのか、教室の風通しがどのようになっているのか、じめじめとしている時の湿度がどうなっているかなどを調べたいと思っています。そのうえで、どのような対策がとれるか考えていきたいと思います。

また、暑くて勉強に集中できないということでしたが、暑いからといって集中できないと諦めず、どんな時でも気合を入れて集中できるような、そんな子に育っていただきたいと思います。

町長から議員の皆さんへ

新得小学校の皆さん、屈足南小学校の皆さん、日頃からいろんなことに関心を持たれて、そして、調べて、今日こども議会の中でいろいろなお話をいただきました。

私自身知らなかったこともありましたので勉強になりました。本当に感謝を申し上げます。

私たちの仕事は、皆さん方を含めた町民の皆さんの生活を支えることです。これからも私たちも努力をしていきますので、改めて皆さん方も日頃のことに関心を持っていただいて、今よりも少しでも良くなるように、気づいたことがあれば、ぜひ私たちの方にお話をいただければと思います。

この間の皆さんの努力に敬意を表するとともに、今日お話をいただいたことに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。